

福岡県家畜衛生だより

2014. 9
NO. 107

発行者 公益社団法人 福岡県畜産協会
福岡市博多区千代4丁目1番27 福岡県自治会館4階
電話 092-641-8714 FAX 092-642-1276



安倍総理が女性農業経営者による 6 次産業化の養鶏場視察 (H26/7 飯塚市)

目 次

◎ 薬事法が大きく改正されます！	P 2
◎ 「ふくおか一斎消毒の日」について	P 3
◎ 韓国での口蹄疫発生状況	P 4
◎ 韓国での高病原性鳥インフルエンザ (H5N8 亜型) の発生状況	P 5
◎ 熊本県における高病原性鳥インフルエンザの発生と対応	P 6
◎ 高病原性鳥インフルエンザ防疫演習のお知らせ	P 7
◎ 牛のヨーネ病の発生と対策	P 8
◎ B 群ロタウイルスによる搾乳牛の集団下痢症	P 9
◎ 豚流行性下痢 (PED) の発生状況と対策	P 10
◎ 行政体験研修受入レポート	P 11
◎ 農林試トピックス	P 12
◎ 福岡県鶏病技術研修会と九州地区鶏病技術研修会	P 14
◎ 産業動物獣医師の新人紹介	P 15

薬事法が大きく改正されます！

福岡県農林水産部畜産課

平成 26 年 6 月 12 日から「医薬品のインターネット販売等に係る改正」が施行され、11 月 25 日から「医療機器及び再生医療等製品等に係る改正」が施行予定です。

1 医薬品のインターネット販売等に係る改正

最近のインターネット普及に対し、ネット上で医薬品が販売される際の安全性確保のために所定の整備が行われました。販売方法には、店舗で販売者と購入者が直接話をして販売する「対面販売」と、インターネット、カタログ、FAX や配達等による店舗以外の場所にいる人に対して販売する「特定販売」があります。今回の改正で、人体用医薬品の対面販売を義務付けるものと、特定販売を認めるものに再区分した上で、遵守すべき販売ルールを定めました。

一方、動物用医薬品はこれまで対面販売を義務付けておらず、引き続き特定販売が可能ですが、同様に所定の整備が行われました。以下、改正の主な内容を記します。

まず、店舗販売業の許可申請時に、新たに以下の事項が追加されました。

1) 追加された記載事項

- ・販売又は授与する業務体制の概要
- ・相談に応ずる電話番号とその他の連絡先
- ・特定販売の有無

2) 追加された添付書類

- ・店舗で販売する医薬品の区分
- ・特定販売を行う場合の店舗名と通信手段

3) 許可基準

購入者等から相談があった場合、必要な情報提供するための体制を整えていること。

他にも、情報提供の方法やその際のあらかじめ確認事項などの努力義務が必要な事

項、相談応需方法などが規定されました。

また、要指示医薬品をインターネット販売する場合には、ホームページ広告上で、指示書交付がなければ購入できない旨を明記すること、画面上で購入希望者が指示書交付を受けていることを確認することが義務付けられました。原則として、販売前に指示書の原本を確認する必要があります。

2 医療機器及び再生医療等製品等に係る改正

この改正では、「医薬品等の使用により保健衛生上の危害が発生・拡大防止するため必要な規制を行う」という目的の規定が明記され、法の題名が「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に改められます。

医療機器は、医療の質を向上させ、期待される産業分野でもあるため、その特性を生かせるように迅速な実用化と規制の合理化が図られ、同製造販売業等について許可制から登録制になることや、基準適合性調査が簡素化される等の整備がなされます。

また、医療機器の無償貸与が行われている実態を踏まえ、これまでの「販売・賃貸業」から「販売・貸与業」に改められます。

さらに、iPS 細胞に代表される再生医療分野は革新的な医療として実用化に向けた期待が高い反面、安全面で課題が残るため、新たに「再生医療等製品」の章を新設し、これに係る承認制度、使用上の安全対策や食品の安全性確保が規定されます。これにより、動物用再生医療等製品販売業という業態が新設されます。

※詳しい内容については、県庁畜産課衛生係までお問い合わせください。

「ふくおか一斉消毒の日」について

福岡県農林水産部畜産課

このたび、福岡県では毎月 20 日を「ふくおか一斉消毒の日」と設定し、県域の家畜防疫体制をより一層強化することとしましたのでお知らせします。

1 経緯

平成 23 年 4 月の家畜伝染病予防法改正により、発生の予防、早期の発見・通報、迅速・的確な初動対応等に重点を置いた家畜防疫体制の強化が図られてきたところです。

しかし、本年、高病原性鳥インフルエンザが熊本県で発生し、豚流行性下痢（PED）の発生は 38 道県に拡大しました。このような状況を踏まえ、畜産農場だけでなく、地域全体で病原体の侵入防止と疾病のまん延防止に取り組むことの重要性が再認識されました。

また、韓国や中国等の近隣アジア諸国では、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザが依然として発生しており、日本への侵入が危惧されています。

2 「ふくおか一斉消毒の日」とは？

口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の病原体が国内外から侵入し、県内でまん延するリスクを低減させるために、全ての畜産農場及び畜産関係施設を対象として、毎月 20 日を「ふくおか一斉消毒の日」と設定しました。

「ふくおか一斉消毒の日」は、家畜の飼養者とともに、全ての畜産関係者が、日ごろからの衛生意識を高め、県全体で農場、関係車両等の消毒徹底・強化に努める日とします。

3 なぜ毎月「20日」？

平成 22 年 4 月 20 日、宮崎県で口蹄疫が発生し、約 29 万頭が殺処分されるなど、甚大な被害を及ぼしました。宮崎県は、今後二度

と口蹄疫等を発生させないため、毎月 20 日を県内一斉消毒の日としています。これにならい、福岡県も一斉消毒の日を「毎月 20 日」と設定しました。

4 関係者の皆さまへ

消毒の徹底は、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の疾病を予防するだけでなく、飼養者の経営安定、安心・安全な畜産物の生産拡大にもつながります。

特に、秋以降、多くの渡り鳥が越冬のために日本へ飛来しますので、高病原性鳥インフルエンザの発生に注意が必要です。

改めまして、「ふくおか一斉消毒の日」に対する皆さまのご理解とご協力をお願いします。

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等
から家畜を守るために



毎月20日は 「ふくおか一斉消毒の日」

病原体の侵入、疾病のまん延を防止するには、県全体の防護対策が重要です。

毎月20日は、畜産関係施設、車両等の消毒徹底・強化に努めましょう！

全ての畜産関係者のご理解とご協力をお願いします。

消毒、家畜の病気に関するお問合せ

中央家畜保健衛生所	TEL 092-633-2920
北部家畜保健衛生所	TEL 0948-42-0214
両筑家畜保健衛生所	TEL 0942-30-1037
筑後家畜保健衛生所	TEL 0942-53-2405

家畜の異状の早期発見・早期通報をお願いします。

【福岡県】

韓国での口蹄疫発生状況

福岡県北部家畜保健衛生所

平成26年7月24日、韓国で3年3か月ぶりに口蹄疫が発生したので、その発生状況を紹介します。

1 発生以前の韓国の状況

韓国では、平成22年11月～平成23年4月の間、O型の口蹄疫が全国8道の内、南西部の全羅北道、全羅南道及び済州島を除いた韓国全土にまん延しました。

そのため、韓国では牛、豚、山羊及び鹿に対してワクチン接種を実施し、その後、2年間発生が認められない等の条件を満たしたため、平成26年5月に「ワクチン接種清浄国」とOIE(国際獣疫事務局)から認定されたばかりでした。

2 発生状況

平成26年7月23日、慶尚北道の養豚農家において発生が確認され、以降8月6日まで3例の発生が確認されています。



そのため、防疫措置として、臨床症状を示した豚及びウイルスが検出された豚の殺処分を行うとともに移動制限、消毒を実施し、全国でワクチン接種の徹底、畜産農家の集会等の自粛を指導しています。

今回の発生原因として、韓国政府はワクチン接種中の発生であり、ワクチンの打ち漏らし、又はワクチン未接種の豚からの発生と推察しています。

なお、最新の情報は、農林水産省HP(http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html)からご確認ください。

3 国内での発生予防対策

国の動物検疫所では出入国時の靴底・車両消毒のより一層の徹底や携帯品の検査強化を行っています。なお、韓国からの牛・豚及びそれらの肉等の輸入は依然禁止されています。

韓国以外のアジア地域においても、口蹄疫の発生が相次いでいるため、偶蹄類飼養者の方は、消毒の徹底などの飼養衛生管理基準の遵守をお願いいたします。



韓国での高病原性鳥インフルエンザ（H5N8 亜型）の発生状況

福岡県北部家畜保健衛生所

平成 26 年 1 月から、韓国で高病原性鳥インフルエンザ（H5N8 亜型）がまん延していますので、その発生状況を紹介します。

1 発生状況

○家きん

平成 26 年 1 月 16 日に全羅北道の種あひる農場で初めて H5N8 亜型の発生が確認されました。平成 26 年 8 月 14 日現在、韓国政府が公表している発生件数は 29 件（18 市・郡）で、その他に発生農場周囲や疫学関連農場等でも 183 件の H5N8 亜型鳥インフルエンザが確認されています。

防疫対応として、発生農場、疫学関連農場及び各発生農場周囲 3 キロの農場（あひる及び鶏農場）を対象とした殺処分（平成 26 年 3 月 30 日時点で 472 戸、1,186 万 8 千羽）や発生農場における移動制限、消毒等が実施されていますが、いまだ断続的な発生が認められています。

【家きん種別発生件数】

肉用あひる	種あひる	採卵鶏	種鶏	地鶏	その他
117	42	27	12	4	10

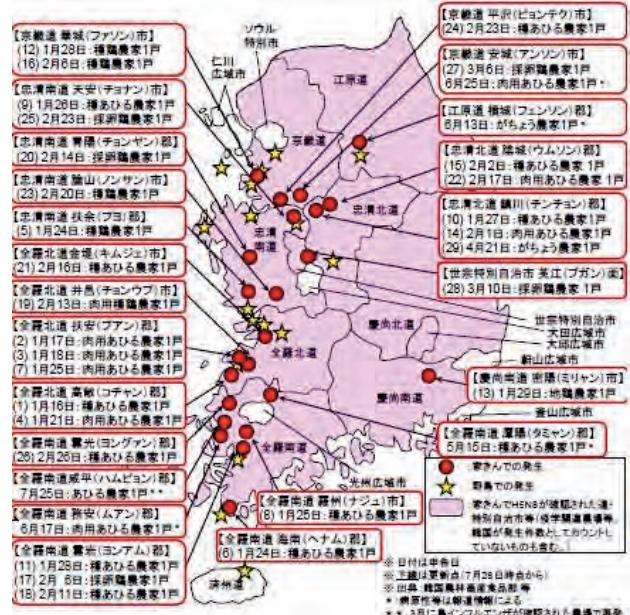
○野鳥

平成 26 年 8 月 14 日現在、38 件の発生が確認されています。うち、トモエガモが 10、マガモが 5、ヒシクイが 4 件で、何れも日本へ飛来します。



(トモエガモのオス)

【韓国での高病原性鳥インフルエンザ H5N8 亜型の発生状況 H26.8.14 現在】



2 国内での発生予防対策

過去の事例を振り返ると韓国で高病原性鳥インフルエンザがまん延した後に国内で発生することが多く、現在でも韓国では本病の発生が断続的に確認されていることから、国内での発生リスクは高いと考えられます。（※平成 26 年 4 月に熊本県で発生した高病原性鳥インフルエンザ（H5N8 亜型）は、近隣国での発生状況及び分子疫学的解析結果から、韓国を経由し日本へ侵入した可能性が高いと考えられています。）

よって、養鶏場等、家きん飼養者の方は、これまで以上に消毒の徹底や野鳥の進入防止対策等の「飼養衛生管理基準」の遵守をお願いします。

熊本県における高病原性鳥インフルエンザの発生と対応

福岡県農林水産部畜産課

平成 26 年 4 月に発生した高病原性鳥インフルエンザに対する熊本県の初動防疫措置は、迅速かつ的確な実施で農林水産省をはじめ各関係者から評価され、今後の「スタンダード」になると考えられます。

そこで、熊本県の発生及び防疫措置の概要と今後の福岡県の対応について、紹介いたします。

1 熊本県の発生概要

4 月 12 日午後、熊本県の肉用鶏農場（45 日齢 56,000 羽飼養）において、死亡羽数が平時に比べ増加したことから、家畜保健衛生所（以下、家保）に通報がありました。

家保は同日立入り、簡易検査において陽性を確認したことから、高病原性鳥インフルエンザを強く疑い遺伝子検査を実施しました。その結果、翌 13 日に遺伝子検査で陽性が確認され、高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜と確定しました。

また、当該農場の飼養管理者が同様に管理していた別農場（17 日齢 56,000 羽飼養）の鶏も指針に基づき疑似患畜と決定し、殺処分（と殺）の対象となりました。



高病原性鳥インフルエンザの特定症状

2 熊本県の初動防疫措置概要

熊本県では、早期に防疫資機材を農場周辺に配備し、疑似患畜確定後直ちに殺処分に取りかかりました。14 日には 2 農場 112,000 羽の鶏の殺処分を、16 日には全ての初動防疫措置を完了させました。この間、作業に従事した動員数は、延べ 4,235 人になりました。

このように迅速に初動防疫措置を完了させた背景としては、「農場からの早期通報」、「熊本県における全庁的な防疫対応」、「国・自治体・関係団体との連携」が、挙げられました。

3 福岡県の対応について

熊本県の発生を受け、福岡県では、養鶏農場と関係団体等に対して、注意喚起の広報を適宜発行しました。

これと平行して、4 月 13 日に緊急防疫対策会議を、14 日に平成 26 年度家畜防疫対策連絡会議を、21 日に平成 26 年度福岡県 HPAI 防疫演習（机上）を開催しました。

4 福岡県の今後の対策について

迅速に初動防疫を完了させ、高い評価を受けた熊本県の対応にも反省点がありました。その 1 つが、防疫作業に慣れない動員者への対応です。福岡県では、このことを踏まえ、新たな「動員マニュアル」を整備しています。

しかしながら、発生させないことが、なにより重要です。今後、渡り鳥のシーズンを迎えるにあたって、より一層の「飼養衛生管理基準」遵守の徹底と異常家きん発見時の早期通報をよろしくお願ひいたします。

高病原性鳥インフルエンザ防疫演習のお知らせ

福岡県両筑家畜保健衛生所

○ 開催の要領

福岡県は、県域の防疫演習を年2回（高病原性鳥インフルエンザ1回、口蹄疫1回）開催し、伝染病発生の際に迅速かつ的確な防疫措置が遂行できるよう備えています。

今年度の高病原性鳥インフルエンザ防疫演習は、福岡県主催、（公社）福岡県畜産協会・（公社）福岡県獣医師会共催で下記のとおり開催します。

1 開催期日

- 平成26年11月11日（火）

2 時間帯および開催場所

- (1) 午前の部（10:00～11:00）
 - ・福岡県立筑水高等学校体育館
(久留米市山川町1493)
- (2) 午後の部（13:00～16:00）
 - ・福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター研修用グラウンド
(久留米市山本町豊田1438-2)

3 参集範囲

- ・農林水産省、九州・沖縄・山口各県、県内市町村、関係団体、協力事業者、生産者等

○ 演習の内容について

午前の部は座学です。ここでは高病原性鳥インフルエンザに関する基本的な知識と発生予防、まん延防止対策を学んでいただきます。

午後の部は実地演習です。「県内の農場で高病原性鳥インフルエンザが発生した」という想定で演習を行います。ここでは作業従事者の集合場所、防疫テント内における直前の準備、模擬鶏を使った殺処分、埋却、消毒ポイント等について時系列で実演し、防疫措置について学んでいただきます。

なお、実地演習の場合、予期せぬアクシデントも発生します（昨年度は雨と停電、昨年度は寒波と強風）。与えられた条件下での迅速かつ的確な初動防疫を実地演習で検証します。

○ お願い

参加希望の方は、県庁畜産課衛生係までご連絡ください（電話092-643-3498）。

なお、それぞれの会場は駐車スペースが十分にありませんので、公共交通機関の利用をお願いします。



前回の高病原性鳥インフルエンザ実地防疫演習

牛のヨーネ病の発生と対策

福岡県筑後家畜保健衛生所

牛の家畜伝染病の一つであるヨーネ病の摘発頭数は、農林水産省が発行している家畜伝染病発生年報の全国集計によると、平成25年は573頭で、北海道での433頭を筆頭に九州の数県でも摘発されています。

筑後家畜保健衛生所では、本年5月の定期検査でヨーネ病の牛2頭を摘発しました。福岡県内では3年ぶり、管内では8年ぶりの摘発でした。摘発された2頭の乳用牛は、平成20、21年生まれの自家産で、妊娠3、4か月齢で乳量も多い優秀な牛でした。

ヨーネ病は、依然として全国で発生しています。

以下を参考に対策に取り組みましょう。

《臨床症状は？》

慢性で頑固な下痢、泌乳量の低下、削瘦等を示し、細菌性伝染病のうち最も被害の大きな疾病の一つです。また、感染しても無症状で経過する牛が多いことも特徴です。

《感染経路は？》

多くは3か月齢以下の幼若期にヨーネ菌を含む糞便で汚染された乳汁、水などを口から摂取することにより感染します。

《主な予防法》

有効なワクチンならびに治療法はありません。

このため、ヨーネ病に感染していない牛の導入を行うこと、また、牛舎の徹底した消毒、定期的な検査の実施による感染牛の早期摘発と淘汰が重要になります。

農場に菌が侵入すると、感染牛は下痢等の症状を示さずに乳汁・糞便中に排菌します。

したがって、哺乳牛の管理時に①初乳は個体毎に管理(プール初乳の中止)し、②初乳は60度30分加熱の低温殺菌で処理したものを給与(サルモネラ、牛白血病ウイルス、BVDウイルス等の病原体の不活化にも有効)するなどの対策も必要となります。一旦、農場に菌の侵入を許すと飼養管理が煩雑になるばかりでなく、生産性にも大きな影響を与えるため、農場へ侵入させないことが最も有効な対策となります。

そのためには、

① 適切な飼養管理

農場の入口に消



毒装置を設置するとともに、牛舎入口には踏込消毒槽を設置し農場内、牛舎内に菌を侵入させないようにする。

② 証明書の確認

本病の農場への侵入は、ヨーネ菌に感染した牛の導入によるものが多いと考えられることから、導入元が陰性農場であることを確認する。

③ 導入時検査

陰性農場からの導入でも、県外からの導入に際しては、最寄の家畜保健衛生所へ連絡し、抗体検査等により導入牛の陰性を確認する。

ヨーネ病は、感染牛でも無症状で経過することが多いことから、最悪の場合、気づいた時には農場に蔓延しているケースも考えられます。

くれぐれも、以上のこととに注意し、農場への本病の侵入を防ぎましょう。

B群ロタウイルスによる搾乳牛の集団下痢症

福岡県中央家畜保健衛生所

1 ロタウイルスとは

ロタウイルスは、哺乳類、鳥類の幼若な動物に下痢を引き起こす代表的なウイルスです。

また、ウイルスに汚染された水や飼料を摂取することで感染し、感染した動物は、糞便中に大量のウイルスを排出します。現在、抗原学的及び遺伝学的な違いによりA群～H群の8群に分類されています。

A群ロタウイルスは、子牛、子豚の下痢症の主要な病原体であり、コクシジウムや大腸菌との混合感染で症状が悪化し、飼料効率の低下、発育遅延を起こします。一方、ほとんどの成畜は、若齢期の感染により抵抗力（免疫）を有するため、感染しても発症しないと考えられています。

A群以外のロタウイルスは、検出されることが少なく、これまでほとんど知られていませんでしたが、平成11年頃からB群ロタウイルス、平成14年頃からC群ロタウイルスによる搾乳牛の集団下痢症が北陸、関東甲信越地方で報告されるようになりました。なかでも平成11年に石川県で発生したB群ロタウイルスによる搾乳牛の集団下痢症では、酪農団地の9戸、約1,000頭が発症するという大規模な事例となりました。

今回、平成26年3月と4月に4戸115頭の搾乳牛でB群ロタウイルスによる牛ロタウイルス病が県内で初めて確認されましたので、その概要及び対策を紹介します。

2 発生概要

(1) 第一発生

平成26年3月5日から搾乳牛数頭が水様～泥状下痢となり、一週間で牛群全体に拡がりました。下痢は、1～2週間で回復しましたが、食欲低下、乳量低下（18%減）を認めました。当時、同地域の複数の酪農家で同様の症状が認められており、7戸について病性鑑定を行った結

果、4戸で牛コロナウイルスが、2戸でB群ロタウイルスが検出されました。

(2) 第二発生

平成26年4月22日から搾乳牛数頭が軟便～下痢となり、食欲不振、乳量低下を認めました。近隣の農場でも4月29日から同様の症状を認め、翌30日には、牛群全体に拡がりました。この2戸を病性鑑定した結果、B群ロタウイルスが検出されました。

3 発生農家の疫学的な関連

発生した4戸とも直前に牛の導入はありませんでした。第一発生では、3月5日に発生農家2戸を含む複数の酪農家が育成牛の衛生検査のために公共牧場で会しており、病原体が伝播した可能性が考えられます。第二発生では、農場間の直線距離が約300mと近距離であったことが要因と考えられます。

今回、4戸で検出されたB群ロタウイルスの由来を確認するため、現在、（独）動物衛生研究所に遺伝子解析を依頼しています。

4 対策

ロタウイルスのワクチンは、牛のみA群ロタウイルス、牛コロナウイルス及び大腸菌との混合不活化ワクチンとして市販されています。このワクチンは、母牛に注射し、初乳を子牛に飲ませることで乳汁免疫により子牛の病気を予防することを目的としています。

このため、子牛や成牛に注射しても、効果は期待できません。また、A群以外のロタウイルスに対しては、抗原学的な違いのため効果はありません。

下痢症が発生した場合は、下痢便の除去、畜舎の消毒を頻繁に実施し、基本的な飼養衛生管理を徹底します。また、発症動物には、補液等の対象療法を実施しましょう。

豚流行性下痢（PED）の発生状況と対策

福岡県筑後家畜保健衛生所

豚流行性下痢（PED）は、豚の届出伝染病に指定されている急性伝染病の1つです。平成25年10月、国内で7年ぶりに沖縄県で発生して以来、平成26年にもその猛威は衰えることなく全国的に広がり、我が国の養豚業に甚大な被害をもたらしています。

福岡県でも平成26年3月20日に1戸の農場で発生を確認したのち、翌4月に4農場へ感染が拡大しました。

PEDウイルスは伝播力が強く、水様性下痢が主な症状で、同じコロナウイルスを原因とする伝染性胃腸炎(TGE)と類似しています。年齢を問わず感染しますが、発病率及び死亡率は幼齢豚ほど高く、特に10日齢未満の哺乳豚は非常に高い死亡率を示します。

福岡県では、過去にTGEの発生はありましたが、PEDについては今回が初めての発生事例となります。

国内のPED発生状況(H10～)

発生年度	発生頭数	発生地
平成10年	2,693頭	北海道、三重県
平成11年	812頭	三重県
平成13年	2,218頭	鹿児島県
平成18年	3頭	香川県
平成25年	72,950頭	茨城、宮崎、鹿児島、沖縄県
*平成26年	1,218,908頭	38道県

*(平成26.8.24現在)

『PEDの感染は、どのようにして起こるのでしょうか？』

PEDは、糞便中に排泄されたウイルスを健康な豚が口にすることで感染が広がっていきま

す。農場での豚の導入や出荷による移動の4～5日後に発症するが多く、清浄農場への伝播は、ウイルス感染豚、ウイルスに汚染した輸送車両、衣服や履物などを介して起こると考えられています。

『農場へウイルスを侵入させないためには、何に気をつけばよいのでしょうか？』

まずは、農場へ出入りする車両や人、豚を適切に管理することが重要です。入場車両は、農場出入口に消毒設備を設け、噴霧消毒を実施します。来場者には、農場専用の衣服や履物を着用するよう義務付けます。導入豚は健康状態を確認し、既存の豚と隔離した豚房で2週間以上健康状態を観察するようにしてください。

また、PEDは哺乳豚に大きな被害をもたらすことから、分娩舎へウイルスを入れないことも重要です。専用の衣服や履物を使用することはもちろんのこと、作業者を専任にするとか、作業動線をワンウェイに組み立てるようにならう。

PEDの予防には、ワクチン接種が有効です。当初、流行に追いつかずワクチンが不足し、入手困難な状況にありましたが、調整も進み徐々に供給量は改善してきています。

「飼養衛生管理基準」を遵守し、日々の臨床観察を強化するとともに、少しでもおかし



いと感じたら、最寄りの家畜保健衛生所へご連絡いただくようお願いします。

行政体験研修受け入れレポート

福岡県両筑家畜保健衛生所

このたび、両筑家畜保健衛生所において行政体験研修の大学生を受け入れたので、その内容を報告します。

まず、この行政体験研修の主旨ですが、『獣医学を専攻する学生を対象に、夏期休暇等を利用して、家畜衛生等公務員分野への参入意欲を醸成するため・・・』とあります。

今年度は県内3つの家畜保健衛生所で受け入れました。トップを切って当所へ1名の学生が8月に来ました。我々としてもできる限りの経験をしてもらおうと、知恵を絞り一週間のカリキュラムを作成し準備をしました。

当初、“東京大学”の学生が来るということで、“ええっ、東大？”と職員の中で驚きの声が。そして学生さんの名前から性別の誤解が生じ、直前になって“女性”であることが判明し、さらに驚きの声が・・・。

以下、研修を受けた学生(5年生)さんに感想をいただきましたので、紹介します。

『今回の実習では、鶏の採血法、解剖による病性鑑定法といった、学校の授業では学べなかった手技や、家畜の生化学検査や細菌検査について1から学べた他、各先生方の様々な業務や出張に同伴させていただきました。

家畜保健衛生所のお仕事=家畜伝染病の管理ぐらいにしか考えていなかった私にとって、その多岐に亘る仕事を知る良い機会となりました。

普段は簡単に立ち入ることのできない、BSE検査のための採材現場や豚のと畜場で

の調査に行ったことも大変興味深かったのですが、この実習を通して最も印象に残ったのは、職員の先生方が各畜産農家さんと交流する姿です。親身になって農家さんの話を聞き、法律はもちろん、農家さんの環境・経済状況・人脈等を考慮した上で、可能な範囲内で日常の家畜疾病予防法をアドバイスし、感染症が発生するいざという時のため、そして福岡県の畜産振興のために農家さんとの信頼関係を築き上げていっていることを知りました。また、何より家畜保健衛生所が農家さんと県そして国とのバイパスの役割を担っていることを強く実感しました。

今回の実習で体験したことを自分の進路選択の材料とするだけでなく、獣医学を学ぶ一学生として心に留め、これからも勉学に励んでいきたいと思います。』

研修に際し、外部の部署や畜産農家にもご協力いただきました。この場を借りてお礼申しあげます。ありがとうございました。



死亡牛 BSE 検査 (H26.8.12)

農林試トピックス

福岡県農林業総合試験場 畜産部

皆さん、平成 26 年度に入って初めての試験場トピックスです。「あれ？」と思われた方もいらっしゃるんじゃないでしょうか？表題が「農総試トピックス」じゃないし、試験場の名前も「福岡県農業総合試験場」ではなくなってるぞ。そうなんです、実は今年度に入って、試験場の機構改革がありまして、組織が少し変わりました。今回は、試験場組織が変わったことについてお話ししたいと思います。

そもそも、福岡県における畜産の研究は昭和初期の種畜場（現在の小郡市三沢に所在）、種鶏場（現在の太宰府市五条に所在）に始まり、昭和 56 年に、農産・園芸・畜産の各部門の試験場が統合し、現在地の筑紫野市吉木に移転して、「福岡県農業総合試験場」となりました。以来、30 数年間、この地で、畜産に関する様々な試験研究を行ってきました。

そして、今回、平成 26 年 4 月 1 日をもって

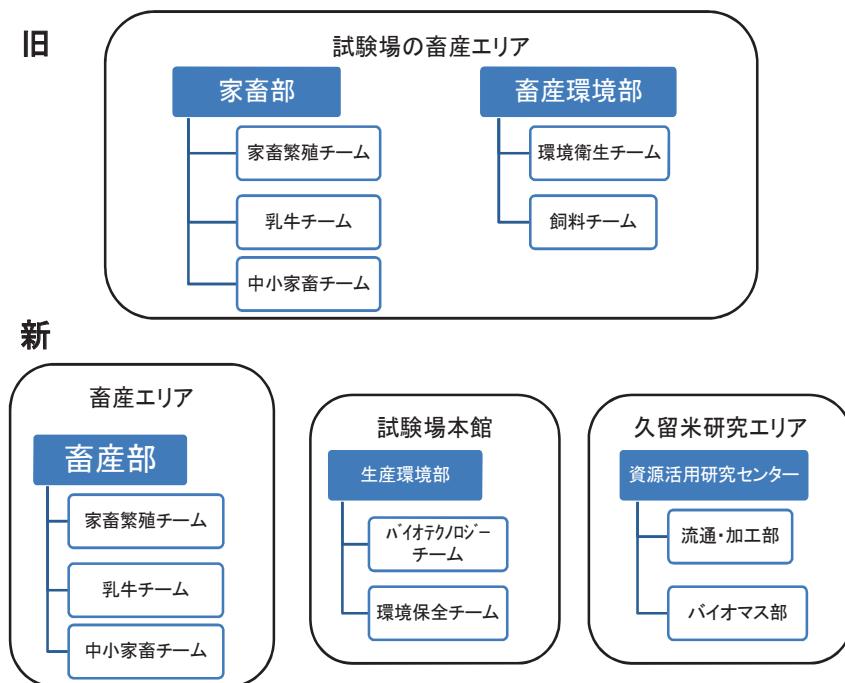
大きな組織改編が行われ、今までの農業総合試験場と久留米にある森林林業技術センター及び県内 3箇所にある病害虫防除所が一つに統合され、「福岡県農林業総合試験場」という組織に生まれ変わったのです。

皆さんには、分かりやすく言えば、今までの農業関係の試験場と林業関係の試験場が一緒になったという風にご理解いただければと思います。

それでは、畜産関係の部署はどのようになったかを説明しますと、まず、下の図を見てください。

今まで、畜産関係の試験研究は、筑紫野市の農業総合試験場本場の一角（畜産エリア）で、家畜部と畜産環境部の 2 部制をとり、家畜部は家畜繁殖・乳牛・中小家畜の 3 チーム、畜産環境部は環境衛生・飼料の 2 チームの計 5 チームで研究業務を行ってきました。

それが、今回の機構改革で畜産エリアでは、



3 チーム編成の「畜産部」で研究業務を行うことになりました。形の上では、家畜部が畜産部という新しい名称になり、畜産環境部とその中の2チームがなくなったような構成になっています。

今までの2部5チーム制から、1部3チーム制に縮小したようになってはいますが、試験場本館に新しくできた「生産環境部」のバイオテクノロジーチームや環境保全チーム、更には、久留米の旧森林林業技術センターを改め、「資源活用研究センター」に新しくできた、「流通・加工部」や「バイオマス部」に畜産専門の研究職員を配置し、新たな分野で新しい研究を行うことになっています。

それぞれの部署の行っている研究業務は、次のようになっています。

1 畜産部（畜産エリア）

①家畜繁殖チーム：肉用牛及び牛胚の生産利用に関する試験研究を行っており、特に、今年度から、黒毛和種子牛に対して、高蛋白・低脂肪代用乳を多給する強化哺育を行い、更に肥育期の飼養管理を改善して出荷月齢を短縮する早期出荷技術について取り組んでいます。

②乳牛チーム：乳牛に関する試験研究と、今年度から新たに飼料関係の試験研究を行っています。乳牛チームでは、近年飼料イネの作付面積が急速に拡大していることに対応し、高品質飼料イネの低コスト栽培・利用技術や乳房炎防止技術の開発に積極的に取り組んでいます。

③中小家畜チーム：豚及び鶏に関する試験研究に加え、今年度から家畜衛生対策に関する研



(写真) 誘引物質に興味を示すイノシシ

究や新たな分野として鳥獣害対策に関する試験研究を行っています。県産銘柄鶏「はかた地どり」、「はかた一番どり」に関する研究はもちろんですが、県内各地で問題となっているイノシシやシカなどの獣害に対して、誘引物質を利用した捕獲ワナへの誘導方法やICT（スマホによる遠隔操作などの情報通信技術）を利用した効率的捕獲方法の開発に取り組んでいます。

2 生産環境部（試験場本館）

①バイオテクノロジーチーム：遺伝子解析技術を活用した新たな農作物の品種開発、特に「あまおう」に代わるイチゴの新品種開発に取り組んでいます。畜産関係では、ウシの高温ストレス関連遺伝子発現に関する研究を進めています。

②環境保全チーム：微生物や有用資材を活用した土壤環境改善や環境負荷低減技術を開発しています。畜産関係では、微生物を利用した新たな悪臭対策技術の研究に取り組んでいます。

3 資源活用研究センター（久留米研究エリア）

①流通・加工部：農林産物の加工や流通技術の開発を行っています。最近、イノシシやシカ肉を用いたジビエ料理が注目されていますが、今年度から新しく獣肉利活用のための品質評価法や加工技術の開発にも取り組んでいます。

②バイオマス部：新組織になって新設された部署で、農業と林業に関わる研究テーマである木質バイオマスの利活用について研究を行っています。畜産関係では、きのこ廃菌床など木質系未利用資源の飼料化の試験を行っています。

以上のように、試験場も一部模様替えをしましたが、これからも県内の畜産農家の皆様のお役に立つ技術開発に取り組んで参りますので、ご支援、ご協力よろしくお願いします。

福岡県鶏病技術研修会と九州地区鶏病技術研修会

鶏病技術研修会は、家きん及びその生産物の衛生に関する知識および技術の向上と、その応用普及を図り、当県の養鶏振興並びに安全な家きん生産物の供給に資することを目的としています。

平成26年度の福岡県鶏病技術研修会の報告

7月30日、福岡県粕屋総合庁舎3階大会議室(〒812-0053 福岡市東区箱崎 1-18-1)で開催され、以下の話題3題と特別講演を実施しました。

○ブロイラー農場におけるクロストリジウム対策

発表者 北部家畜保健衛生所 嶋田 公洋

○採卵鶏におけるクロストリジウムとコクシジウムの混合感染症の1事例

発表者 両筑家畜保健衛生所 川島 幸子

○鶏痘ウイルスとブドウ球菌による皮膚炎

発表者 中央家畜保健衛生所 山本 訓敬

特別講演 『熊本県における高病原性鳥インフルエンザの発生と防疫対応』

講 師 熊本県城南家畜保健衛生所 防疫課長 濱田公男 先生

平成26年度九州地区鶏病技術研修会のお知らせ

日 時 平成26年10月10日（金）午前10時

場 所 九州大学西新プラザ（〒814-0002 福岡市早良区西新 2-16-23）

話 題 九州各県からの提供

特別講演 「鳥インフルエンザの最近の状況について」（仮題）

講 師 鳥取大学農学部教授 伊藤 壽啓 先生



① 福岡空港から地下鉄「姪浜」行き乗車
約20分

② 博多駅から地下鉄「姪浜」行き乗車
約15分

→①②いずれも、「西新」駅下車、
⑦番出口より徒歩約10分

*駐車場はございませんので、周辺の民間駐車場を利用されるか、公共の交通機関をご利用いただきますようお願いします。

産業動物獣医師の新人紹介

今年度は、3名の方が福岡県の畜産関係に就職されましたので、自己紹介していただきました。

- ① 出身地 ② 出身大学（前職） ③ 現在の職場 ④ 趣味・特技等
- ⑤ 現在の職場での仕事と特に興味・関心を持っている分野 ⑥ 畜産農家さんへ一言

濱田 恭平先生 ①神奈川県 ②北海道大学
③福岡県筑後家畜保健衛生所 ④趣味は読書、音楽鑑賞、舞台鑑賞、散歩です。社会人になってから、テニスとピアノを始めました。どちらも下手くそですが、これから長い福岡生活の中でゆっくりレベルアップしていきたいです。



⑤現在の仕事：筑後家畜保健衛生所の検査課で、ヨーネ病、牛白血病やその他病性鑑定に関わる検査業務を担当しています。

興味・関心を持っている分野：家畜の生産成績を落とす慢性疾病全般に興味があります。検査でそれら疾病を特定して、農場の対策につなげていきたい。

⑥前職では、九州北部の農場を巡回して、農場の衛生問題に取り組んできました。

福岡県職員になっても、農家さん一人一人と向き合いながら、農場成績向上のお手伝いができるよう精一杯がんばっていこうと思っています。

どうかよろしくお願ひいたします。

木山 勇介先生 ①福岡県 ②鹿児島大学
③筑後川流域農業共済組合診療所 ④釣り
⑤現在、筑後川流域農業共済組合診療所で家畜の診療業務を行っています。前の職場と繋がりはあるものの、全く異なった業務内容であるため、日々余裕なく業務を行っています。



そのため、興味を持つ分野というのはまだ考えにいたりませんが、腕を磨き、何かひとつでも、この分野なら負けないという分野を作っていくたいと考えています。

⑥家畜保健衛生所の検査業務から共済組合家畜診療所の診療業務へ転職し、4か月がたとうとしていますが、診療業務に慣れたかどうかもわからない状態です。しかし、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



- ① 出身地 ② 出身大学（前職） ③ 現在の職場 ④ 趣味・特技等
 ⑤ 現在の職場での仕事と特に興味・関心を持っている分野 ⑥ 畜産農家さんへ一言

飛永 崇晴先生 ①福岡県 ②酪農学園大学
 ③いとしま動物クリニック ④専らテニスばかりして学生生活を送っていました。なので、テニスは趣味であり特技でもあります。他の趣味は音楽鑑賞、映画鑑賞、ドライブ等でしょうか。そして、まだ本格的にやったことはありませんが、釣りやバイク（まず免許から）、ドラム等にも興味あります。



⑤主に牛の診療、人工授精、予防接種を行っています。興味のある分野は「蹄病治療」、「適切な飼料条件」や、「子牛の管理」です。その牛の生活の土台をしっかりとすることで病気になりにくい牛に出来たらと考えています。診療の基礎を固めた後には、その辺りの分野を勉強したいです。
 ⑥こんにちは！！暑い季節もあと少しですね。牛はバテテないでしょうか？暑き対策は牛もですが、農家さんご自身の分もお気を付けてください。まだまだ私の力不足な面が多いので、畜産農家さんに不安を感じさせてしまっている事も多いかと思いますが、何でもビシバシ注文をおっしゃってもらって構いませんので、これからもよろしくお願いします。皆さんのご希望に沿った診療を行えるように努力していきたいと考えております。



衛生情報・ご相談は 最寄りの家畜保健衛生所へ

福岡県農林水産部
 畜産課
 中央家畜保健衛生所
 北部家畜保健衛生所
 両筑家畜保健衛生所
 筑後家畜保健衛生所

福岡市博多区東公園 7-7
 福岡市東区箱崎ふ頭 4-14-5
 嘉麻市大字漆生 587-8
 久留米市合川町 1642-1
 筑後市大字和泉 606-1

Tel 092-651-1111
 (内線 3990)
 Tel 092-633-2920
 Tel 0948-42-0214
 Tel 0942-30-1037～9
 Tel 0942-53-2405

F A X 092-643-3517
 F A X 092-633-2851
 F A X 0948-42-1376
 F A X 0942-35-9198
 F A X 0942-53-2723